



令和8年9月8日

午後3時30分

特別展「武家のみやび ―初代一関藩主 田村建顕と和歌―」を開催します

初代一関藩主 田村建^{たけあき}顕は、幕府奏者番^{そうじゃばん}の要職を長く務めましたが、歌人としても名高く、和歌を通じて天皇や公家^{くげ}と交わり、その人脈がまた彼の栄達を支えました。元禄時代の和歌を巡る人々の交流、武家の社会に見る京のみやびを紹介します。

- 1 期 間 9月19日(土)～11月23日(月・祝)
 午前9時～午後5時(ただし、入館は午後4時30分まで)
※ 入館無料日 9月19日(土)特別展初日
 10月6日(火)～12日(月・祝)開館記念ウィーク
 10月31日(土)・11月1日(日)東北文化の日
 11月3日(火・祝)文化の日
- 2 場 所 一関市博物館 企画展示室(巖美町字沖野々215番地1 0191-29-3180)
- 3 内 容 ・関連行事も実施します
 ・詳しくは添付のチラシを参照してください
- 4 共 催 国文学研究資料館、同志社大学

問い合わせ先

〒021-0101 岩手県一関市巖美町字沖野々215-1

一関市博物館 主任学芸員 相馬

電話:(0191)29-3180 FAX:(0191)33-4006

メールアドレス:hakubutsukan@city.ichinoseki.iwate.jp



｜ 特別展 ｜

主 藩 関 一 代 初 建 村 田 頭 和 歌

しょうだい
いちのせきはんしゅ
たむらたけあき
とわか

2026.9.19 SAT
— 11.23 MON

主催／一関市博物館
共催／国文学研究資料館、同志社大学

一関市博物館

ICHINOSEKI CITY MUSEUM

〒021-0101 岩手県一関市殿美町字沖野々215番地1
TEL 0191-29-3180 FAX 0191-33-4006
<https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/museum/>



【資料】
織物歌仙手鑑／個人蔵、寛元天皇宸筆御機嫌図／同志社
大津史資料館蔵、狩野常信画歌仙小色紙手鑑／個人蔵
寸松庵色紙「ちやん」／京都国立博物館蔵、田村建
頭手鑑／当館蔵、狩野常信画 吉野園障風／当館蔵、歌
仙書百人一首／当館蔵、田村建頭詠歌／当館蔵

みやび

武家の

| 特別展 |

初代一関藩主 田村建顕 と和歌

しやだい
いちのせきはんしゅ
たむらたけあき
とわか

2026.9.19 SAT — 11.23 MON

入館料無料の日

- 特別展初日／9月19日(土)
- 開館記念ウィーク／10月6日(火)～10月12日(月・祝)
- 東北文化の日／10月31日(土)、11月1日(日)
- 文化の日／11月3日(火)

主催／一関市博物館 共催／国文学研究資料館、同志社大学

初代一関藩主田村建顕。外様大名伊達氏の分家大名ながら、長く奏者番を務めるなど幕府に重用された。江戸城松の廊下で刃傷に及んだ浅野内匠頭の身柄を預かり、建顕の江戸屋敷が切腹の場となったことは有名である。一関では、学問立藩の構想を描いた理想の藩主として尊敬されている。その建顕、実は歌人としても名高く、和歌を通じて天皇や公家と交わり、その人脈がまた彼の栄達を支えた。和歌をめぐる元禄時代の人々の交流と田村建顕の熱き想いに触れ、あこがれの京のみやびなる世界をご堪能ください。

関連事業

セミナー

一関藩田村家セミナー ―和歌が結ぶ京・江戸・一関―

◎日時／10月11日(日)13:30～16:00

◎内容／講演①「初代一関藩主田村建顕の生涯」

相馬 美貴子(当館主任学芸員)

講演②「建顕と和歌 ―師、岡本宗好のことなど―」

大谷 俊太 氏(京都女子大学教授)

講演③「霊元天皇が見た建顕の和歌」

大山 和哉 氏(同志社大学准教授)

◎定員100名、参加無料、電話申込必要

講演

和歌をよむ・かく・うたう ―歌道事始め―

◎日時／11月1日(日)13:30～15:00

◎講師／御手洗 靖大 氏(宮城教育大学講師)

◎定員100名、参加無料、電話申込必要

ギャラリートーク

◎日時／10月10日(土)14:00～14:45

加藤 弓枝 氏(名古屋大学准教授)

渡邊 美希 氏(東京工業高等専門学校助教)

◎日時／10月11日(日)16:10～16:40

大山 和哉 氏(同志社大学准教授)

大谷 俊太 氏(京都女子大学教授)

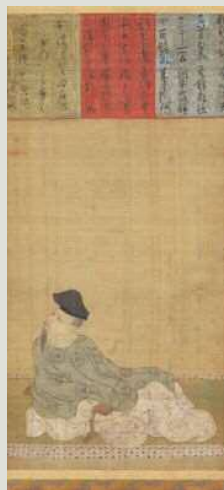
相馬 美貴子(当館主任学芸員)

◎日時／11月1日(日)15:15～16:00

日高 愛子 氏(熊本大学准教授)

渡邊 美希 氏(東京工業高等専門学校助教)

◎参加無料、申込不要



- ①重要文化財 寸松庵色紙(ちはやふる)／京都国立博物館蔵
- ②柿本人麿像／京都国立博物館蔵
- ③中院通茂肖像／京都大学総合博物館蔵
- ④冷泉家門人帖／冷泉家時雨亭文庫蔵
- ⑤霊元天皇宸筆眉形／同志社大学歴史資料館蔵
- ⑥田村建顕旧蔵『古今集抄』／国文学研究資料館蔵
- ⑦古今伝受箱開見之訓状／当館蔵

開館時間／9:00～17:00【入館は16:30まで】

休 館 日／毎週月曜日 ※但し祝日・休日の9月21日(月)、10月12日(月・祝)、11月23日(月)は開館し9月24日(木)、10月13日(火)が休館

入 館 料／一般 300円(240円) 高校生・大学生 200円(160円) 中学生以下無料 ※()内は団体(20名以上)割引料金

※次の方々の入館料は免除となります

①65歳以上の一関市民の方(年齢・住所が証明できるものを提示願います)

②障がい者・介護者の方(障がい者手帳等を提示願います)

交通案内

自動車 一関ICより西へ約7分(5km)、一ノ関駅より西へ約17分(9km)

路線バス 一関駅前9番乗り場 厳美溪方面行 約20分(厳美溪バス停下車 徒歩約7分)

一関市博物館

ICHINOSEKI CITY MUSEUM

〒021-0101 岩手県一関市厳美町字沖野々215番地1

TEL 0191-29-3180 FAX 0191-33-4006

<https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/museum/>

